

うるおいのある文化と生涯学習の地域づくり（教育・文化の充実）

立石には、先人が築き守ってきた貴重な文化や伝統がたくさんあります。それらを大切に思い、後世に伝える取組や、地域に根ざした新しい文化の創造に努めます。

また、異年齢間の交流を通じて、より豊かな生涯学習の推進に努め、地域住民だれもがいきいきと人生をおくることができるような事業を展開します。

（1）伝統行事・文化財・文化活動等の保存・継承

先人が築いた歴史や文化を、地域の責任として地域をあげて伝承し、後世に残す取組を展開します。また、愛宕山行事等の伝統的行事は、自治会活動の柱として位置づけ、今後も継続して実施します。また、歴史的建造物や文化財等は、町へも積極的に働きかけを行い、その保存・伝承に努めるとともに、若者を中心に、新しい文化の創造に努めます。その具体的施策として、「立石の歴史」の出版、「歩いてみよう ふるさと たていし」を実施します。

（2）青少年の健全育成

自主的に活動でき、お互いを思いやることのできる心優しい子どもたちを育成するため、自治会愛護部だけの活動としてではなく、地域をあげ、地域全員が愛護部員としての自覚を持ちつつ進めていきます。さらに、子どもたちからお年寄りまで参加できるボランティア活動等を通じ、色々な話し合いや共同作業等により、農村生活の良さを学び合う活動を展開します。その具体的施策として、青少年の健全育成に関する研修会の開催、三世代交流活動の実施、子供会の組織化にむけての取り組みを行います。

（3）自治会組織の強化と生涯学習の推進

自治会の活動目的や存在意義を再確認し、地域の実情や住民のニーズに的確に対応した組織運営と生涯学習の推進に努めます。また、地域住民のコミュニティ意識を高めるため、地域ボランティア活動を積極的に推進するとともに、地域住民が活動しやすい自治会館の整備充実に努めます。そのために、アンケート調査の実施、他自治会・他団体との交流会、自治会報の充実とホームページの作成、立石地域づくり懇談会の開催、先進地視察研修、都市と農村との交流活動事業、施設の改修、備品購入などを積極的に行います。

誰もが健康でいきいきと輝ける地域づくり（健康・福祉の充実）

住民だれもが健康で、いつまでも元気に生活できるよう、一人ひとりの心と体の健康に対する意識を高め、地域が一体となった健康づくり事業を推進します。

また、高齢化社会に対応したボランティア組織の育成と、その活動を積極的に支援するとともに、障害者にも優しい環境づくりに努めます。

（1）健康づくりの推進

「自分の健康は自らがつくる。」という自己管理意識の高揚に努めていきます。また地区における保健活動を充実し、疾病予防・健康増進の推進に努めます。そのために、自己健康管理の推進、健康教育の充実を図ります。

（2）高齢者福祉の充実

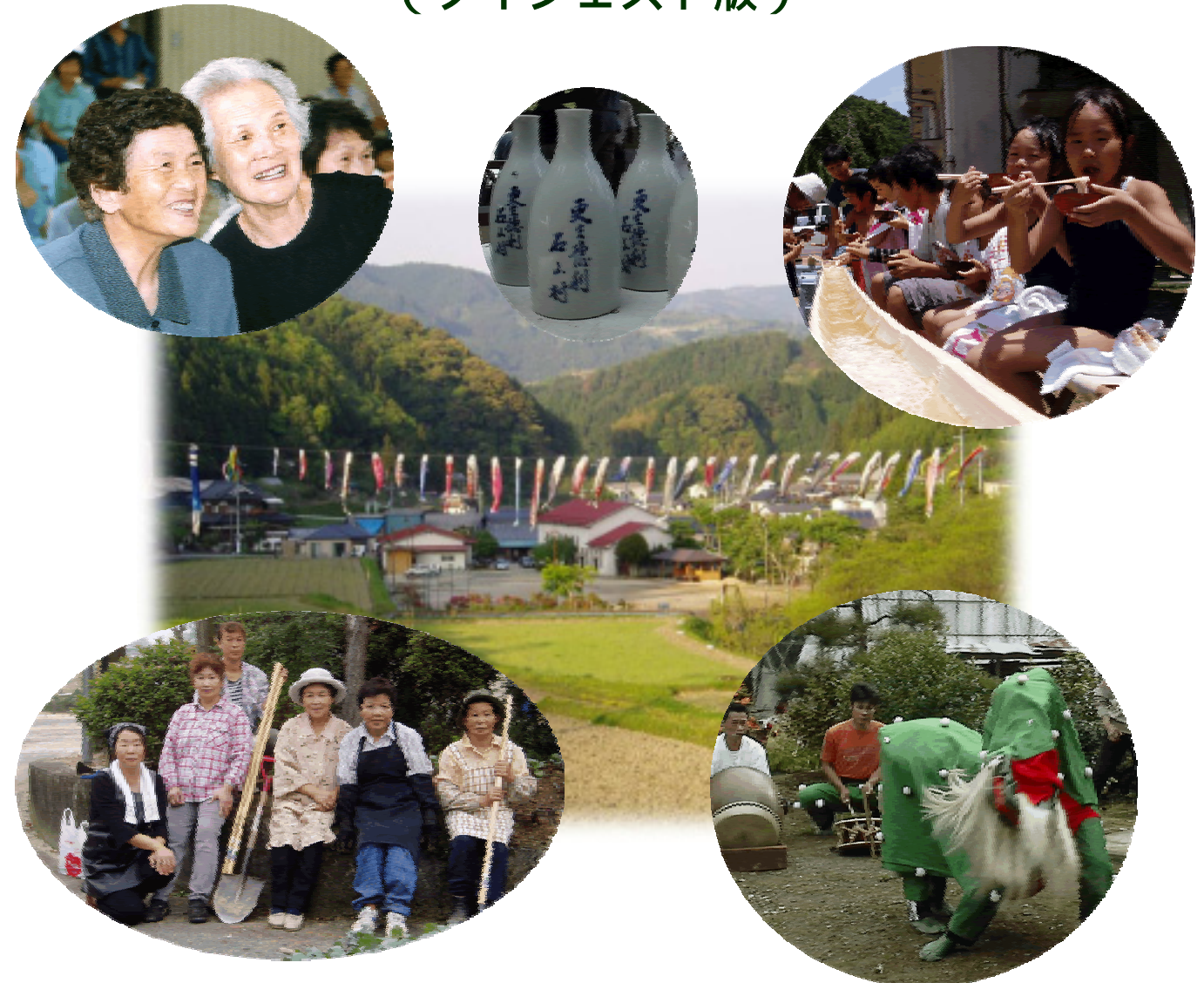
高齢者が、元気で安心して暮らせる地域づくりのために、独居老人及び高齢者世帯宅訪問、寝たきり老人0%の推進、高齢者の生きがいづくりの推進を行います。

詳しくは、立石自治会地域づくり計画書（本編）をご覧ください。

立石自治会 地域づくり計画書

笑顔と笑顔がふれあう地域「たていし」

（ダイジェスト版）



平成16年12月

小田自治センター
立石自治会

はじめに・・・

小田町では、本年4月より従来の公民館分館並びに大字制を廃止し、平成17年1月1日に合併する内子町にならい、「自治会制度」を導入いたしました。そして、内子町・五十崎町・小田町の合併による輝かしい新「内子町」の誕生を期に、先人たちが築き守ってきた我がふるさと・立石のさらなる発展と、地域の皆さんの幸せを願い、ここに「立石自治会地域づくり計画書」を策定いたします。

地域づくり計画書策定の趣旨

地域づくり計画書は、「自治会制度」の本旨、すなわち市町村合併をはじめとする急速な地方分権の進展に伴い、これからの地域づくりは行政主導型ではなく、地域住民自らが考え、自ら行動し、時には自ら負担し、行政と協働することが大切であるとの考え方に基づき、住民による住民のための、まさに地方自治の新しい時代にふさわしい自治会活動の指針ともなるべきもので、今後、立石地区がどのような地域づくりを進めていくかについて、様々な観点から地域を見つめ直し、分野ごとに具体的な地域づくり事業を計画的に盛り込み、地域のさらなる発展と住民福祉の一層の向上を図るために作成するものです。

地域づくり計画書の構成と計画期間

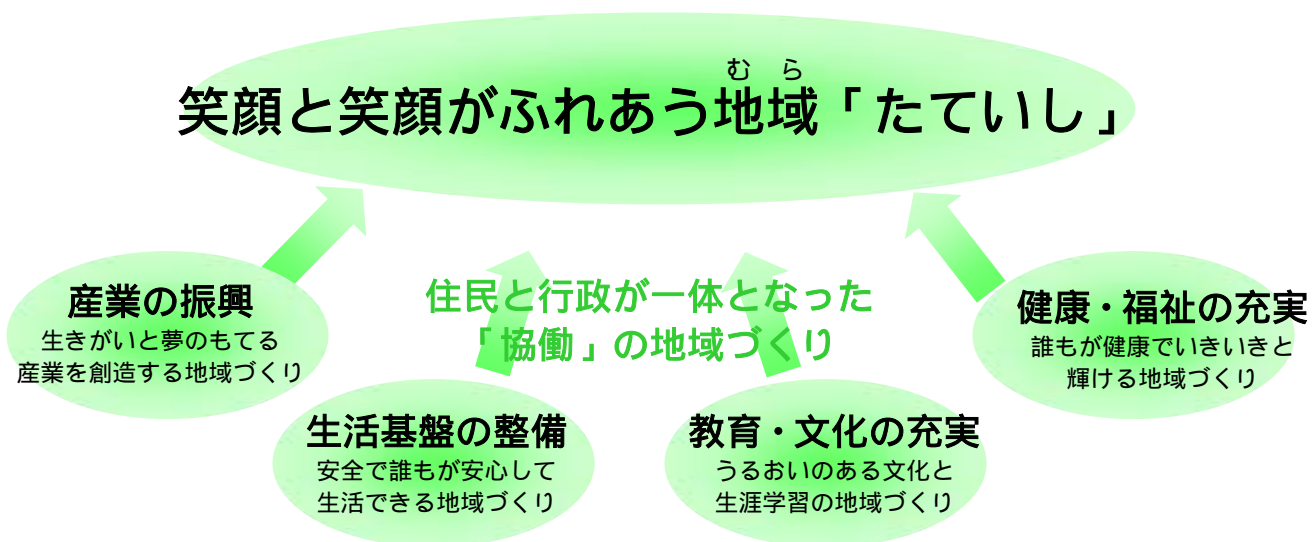
本計画書は、第1章「総論」、第2章「基本構想（地域づくりの目標）」、第3章「基本計画（地域づくりの具体的主要施策）」によって構成されています。

計画期間は、平成17年度を初年度とし、10年先の平成26年度までの地域づくりの内容を掲載した長期的なものとなっています。また、その時々々の住民の要望や社会情勢の変化に柔軟に対応するために、具体的事業の見直しを毎年行うこととしています。

地域づくり計画の基本理念

地域づくりの目標は、その地域に住む人々が幸せで、いつまでも住んで良かったと心から思える、笑顔の絶えない地域をつくることです。

そのために、立石における地域づくり計画の基本理念は、立石地区の地域づくりの合い言葉である「笑顔と笑顔がふれあう地域(むら)・たていし」の実現にむけ次のようになっています。



地域づくりの主役は、皆さんお一人おひとりです。

地域づくりの基本計画

生きがいと夢のもてる産業を創造する地域づくり（産業の振興）

立石地区で、これからもずっと住み続けるためには、経済的な豊かさと地域の魅力が必要不可欠です。特に基幹産業である農林業の振興は、過疎化が進行する本地域において特に重要な課題です。地域の特色を活かした産業の振興に努めるとともに、美しい自然を守るため、長期的視野にたった自然環境の整備に努めます。

(1) 商業の振興

商業は、日々の暮らしに必要な物を供給するだけでなく、定住化を促す活気に満ちた快適環境を維持する役割を持った産業であることを再認識し、小規模ながら、活気に満ちた商店形成を促進するため、消費拡大の促進、商業活動の支援を行います。

(2) 農林業の振興

農地荒廃の防止を推進すると共に、特産物の開発、農業後継者の育成、効率的農業経営の推進を図り、農業の発展に努めるとともに、森林資源の保全を図り、林道網の整備を推進し森林管理の強化を図るため、農林作業の委託体制の整備、支援要望の実態調査等の実施、先進地視察等の実施、特産品の開発を行います。

安全で誰もが安心して生活できる地域づくり（生活基盤の整備）

安全で、安心して生活できる生活環境の実現は、住民だれもが願うことであり、自治会の最重要課題として推進します。とくに、生活道路の整備や憩いの場づくり、立石川の清流保全については、行政に対して計画的に要望します。また、自主防災組織の充実並びに災害に強い環境整備も、緊急の課題として積極的に取り組みます。

(1) 地域環境の保全

住みよい生活環境の保全と美しい景観づくりのため、EMばかしの推進、リサイクル意識の高揚、環境学習会の開催、河川清掃活動の推進、不法投棄防止の看板設置、花いっぱい運動の推進を行います。

(2) 生活環境の整備

時代にマッチした道路網の整備や清流「立石川」の環境保全を進めるため、地域一体となった生活道路の改良、ホタルの里づくり、魚のすめる立石川の整備、排水溝の整備を行政とともに推進します。

(3) ボランティア活動

地域の実情にあった、住民の自発的なボランティア組織の育成を推進するため、ボランティア意識の高揚、ボランティア組織への支援を積極的に行います。

(4) 地域防災、防犯、救急対策

地域住民の生命を守る病院存続のための取組や、地域ぐるみでの防犯体制の強化、緊急時における足腰の強い自主防災組織の体制の確立をめざし、病院存続にかかる要望書の提出、あいさつ運動の励行、防犯対策学習会の開催、防火水槽の計画的建設(要望)、自主防災訓練の実施などに取り組みます。